

# 阿 蘇 山

## 1 火山活動度レベル

火山活動度レベルは、2 (やや活発な火山活動) でした。

## 2 概 況

中岳第一火口底では引き続き赤熱現象を観測するなど、浅部の熱的活動はやや活発な状態で経過しています。

- ・火口底の赤熱現象は前期間(5月31日)から引き続き観測し、その部分はやや拡がりをみせています。
- ・中岳第一火口の湯だまりの表面温度は70前後の高い状態が続いています。湯だまりの量は減少傾向が続いており、8日には約1割に減少しました。また、湯だまり内では小規模な土砂噴出が継続しています。
- ・火山性連続微動を4月16日から6月5日、10日から14日にかけて観測しました。

## 3 火口や噴気地帯の状況(図1, 2)

- ・中岳第一火口の湯だまりの表面温度は70前後で経過し、湯だまり内では高さ2~5mの小規模な土砂噴出が継続しています。また、湯だまりの減少傾向が続いており、8日には約1割に減少しました。
- ・火口底温度は194~236と高い状態が続いています。
- ・火口底北側の赤熱現象は引き続き観測(24日現在)し、その部分はやや拡がりをみせています。
- ・南側火口壁下の噴気地帯の温度は、56~80で経過しました。
- ・監視カメラで21日に火口底北側の一部で陥没した箇所が見られ、小規模な土砂噴出を観測しました。また、23日の現地観測では同箇所の噴気孔から、青白色ガスの噴出を観測しました。

## 4 噴煙活動の状況(図2, 3)

噴煙は白色・少量で、噴煙高度の最高は700mでした。

## 5 地震・微動活動の状況(図2~4)

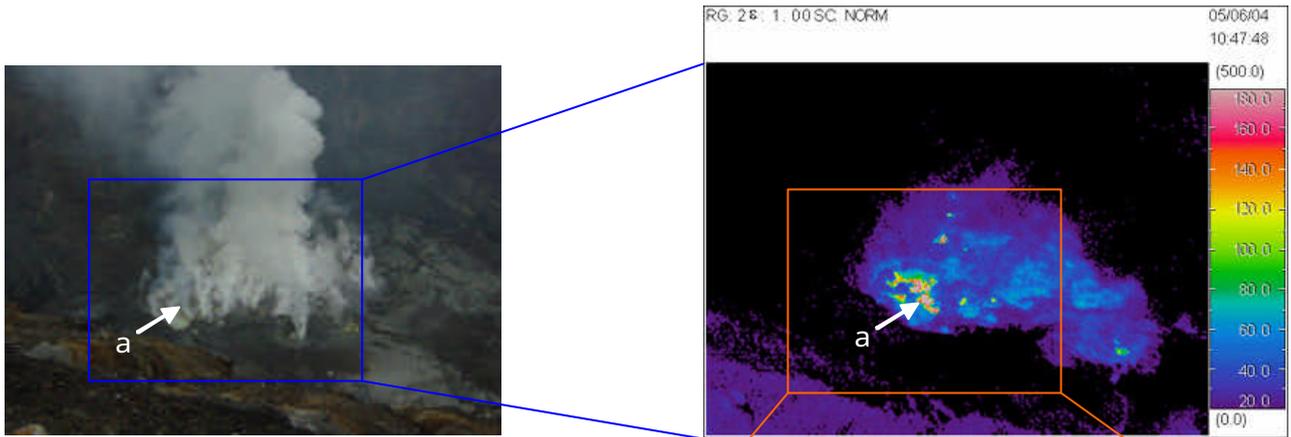
火山性地震の月発生回数は298回(前月216回)で、特段の変化はありませんでした。孤立型微動の月発生回数は1843回(前月3269回)で前月より減少しました。火山性連続微動を4月16日から6月5日、10日から14日にかけて観測しました。

## 6 地殻変動の状況(図5)

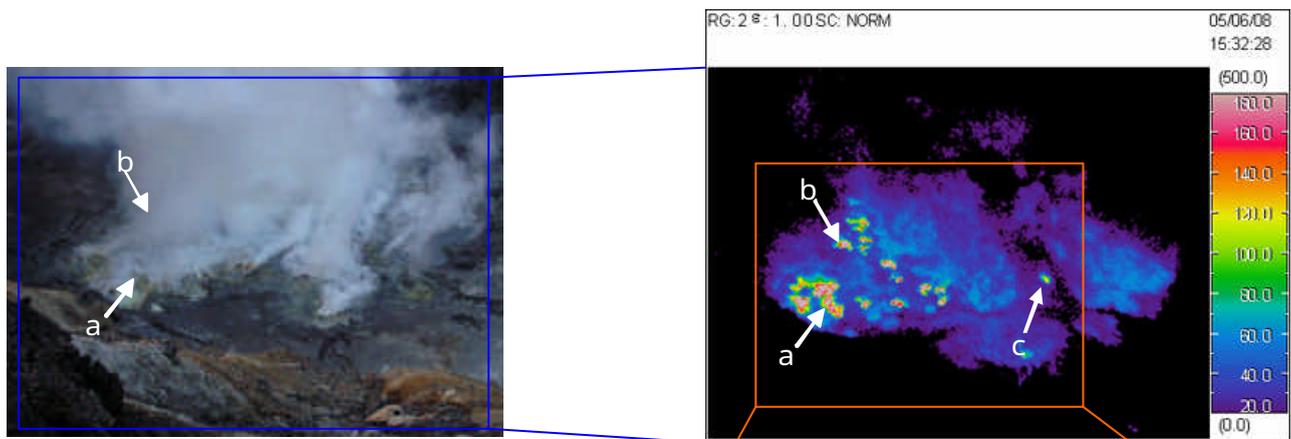
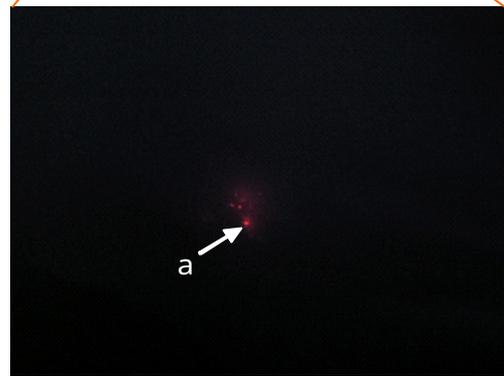
GPSによる地殻変動観測は、火山活動に起因する変化はありませんでした。

## 7 機動観測の結果(図7)

6月3, 4日に機動観測を実施し、全磁力の繰り返し観測を行いました。全磁力観測では、火山活動に起因する変化は認められませんでした。



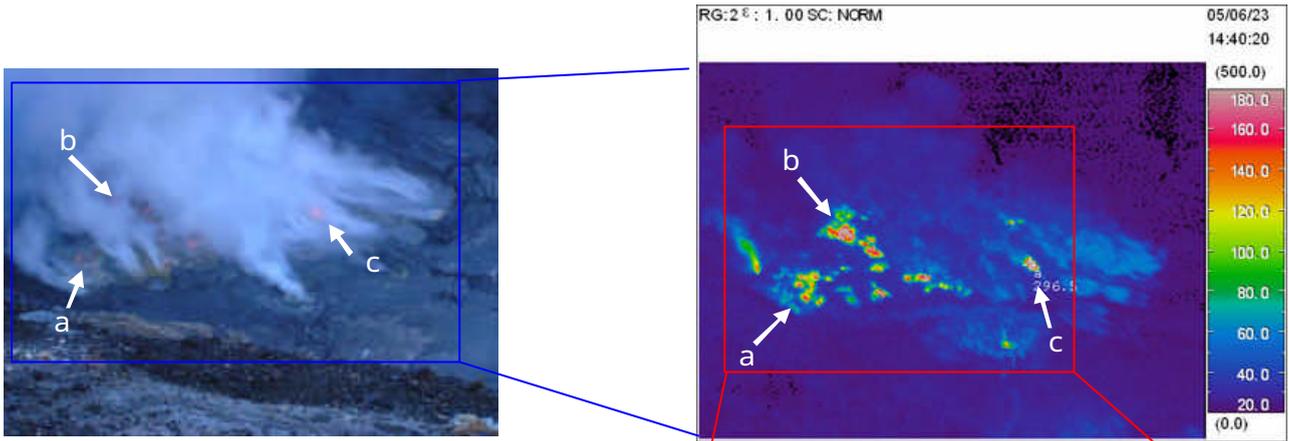
6月4日(赤熱写真については6月3日夜撮影)  
 湯だまり量は約2割。色は黒灰色。温度は68(赤外放射温度計)。中央部で約5mその他多数で2~3mの土砂噴出。  
 湯だまり北側の噴気孔付近(図中a)の温度は赤外放射温度計で194であった。  
 6月3日夜、火口底の赤熱現象を確認。5月31日にも監視カメラにより同部分で赤熱現象を確認。  
 赤熱写真の露出時間は約1分間。



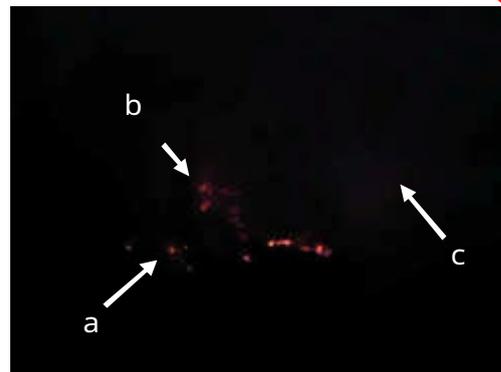
6月8日  
 湯だまり量は約1割。色は黒灰色。温度は71(赤外放射温度計)。中央部で約5mその他多数で2~3mの土砂噴出。  
 図中a,b,cの温度はa:218 ,b:192 ,c:164であった(赤外放射温度計)。  
 赤熱写真の露出時間は約26秒間。



図1-1 中岳第一火口底の状況(南西側から撮影)  
 赤熱の部分は、やや拡がりをみせています。



6 月 23 日(赤熱写真については 6 月 24 日夜撮影)  
 湯だまり量は約 1 割。色は黒灰色。温度は 71 (赤外放射温度計)。中央部で約 5 m その他多数で 2 ~ 3 m の土砂噴出。  
 図中 a,b,c の温度は a:205 ,b:236 ,c:206 であった(赤外放射温度計)。



6 月 15 日火口底北側



6 月 23 日火口底北側

図 1 - 2 中岳第一火口底の状況(南西側から撮影)

6 月 15 日の現地観測では火口底北側 杵付近には特に変化はありませんでしたが、6 月 21 日の監視カメラで 杵内に陥没部分を確認し、同部分からの土砂噴出を観測しました。6 月 23 日の現地観測で、監視カメラで見た陥没を確認しました。その大きさは直径約 15m で、同部分の噴気孔からは青白色ガスを噴出していました。

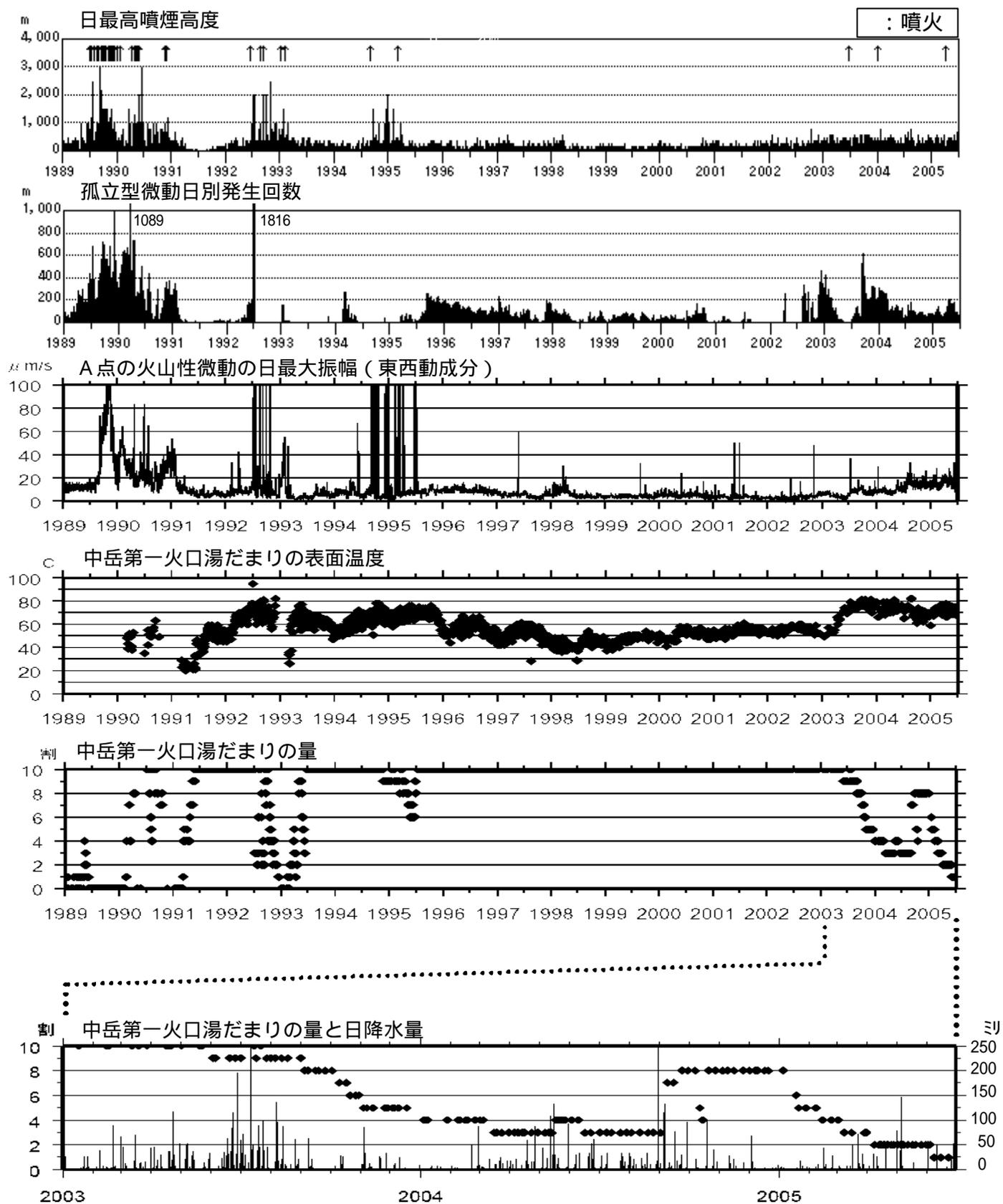


図2 火山活動経過図(1989年1月1日~2005年6月30日)  
 湯だまりの表面温度は2003年5月中旬頃から高い状態が続いています。

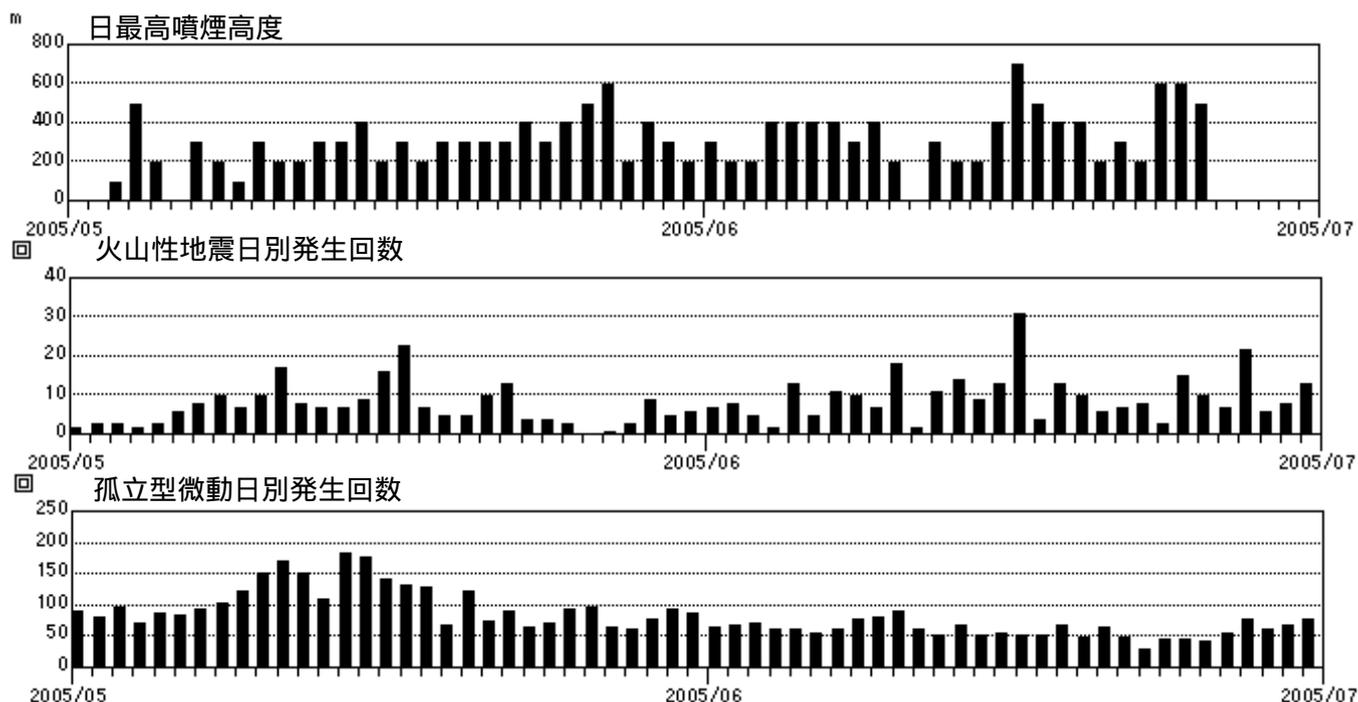


図3 火山活動経過図(2005年5月1日～6月30日)

地震・微動活動および噴煙活動の状況に特段の変化はありませんでした。

[ 凡例 +:微動 ↑:噴火 +→:連続微動 ]

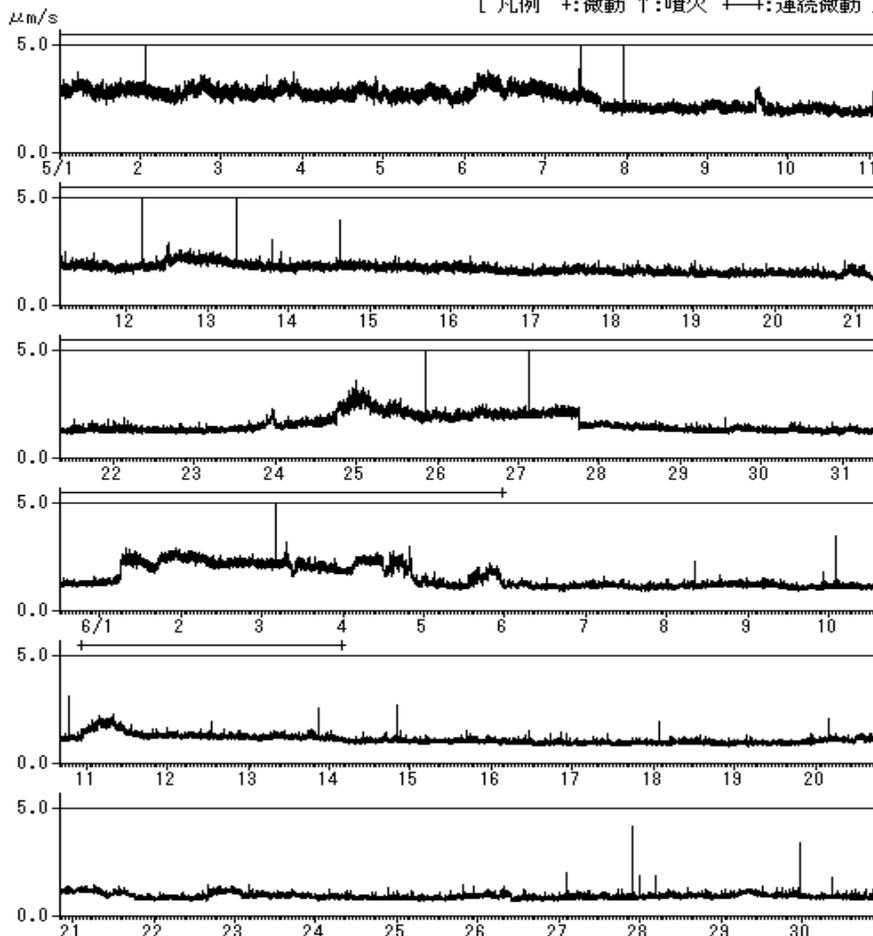


図4 1分間平均振幅の時間変化(A点南北動成分)(2005年5月1日～6月30日)

火山性連続微動を4月16日から6月5日、10日から14日にかけて観測しました。

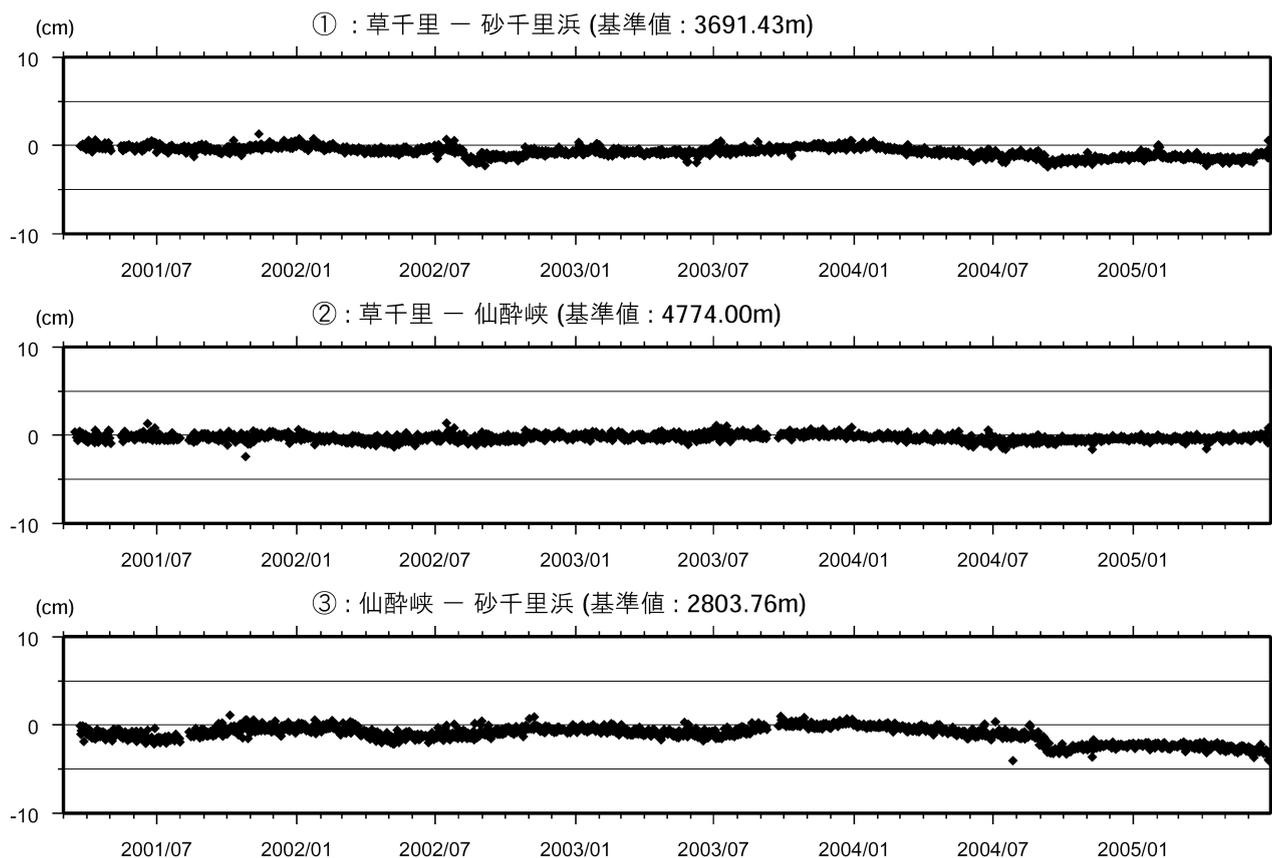


図5 GPS観測による基線長変化(2001年3月15日~2005年6月30日)  
火山活動に起因する変化はありませんでした。

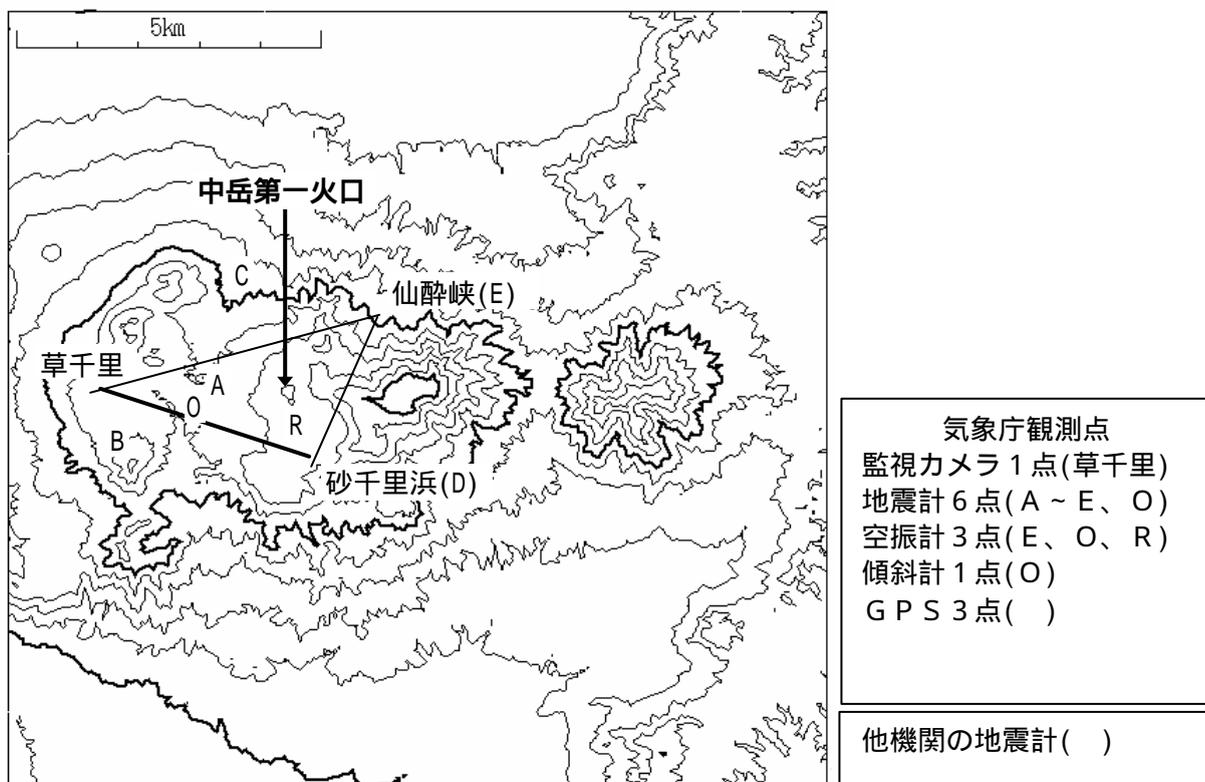
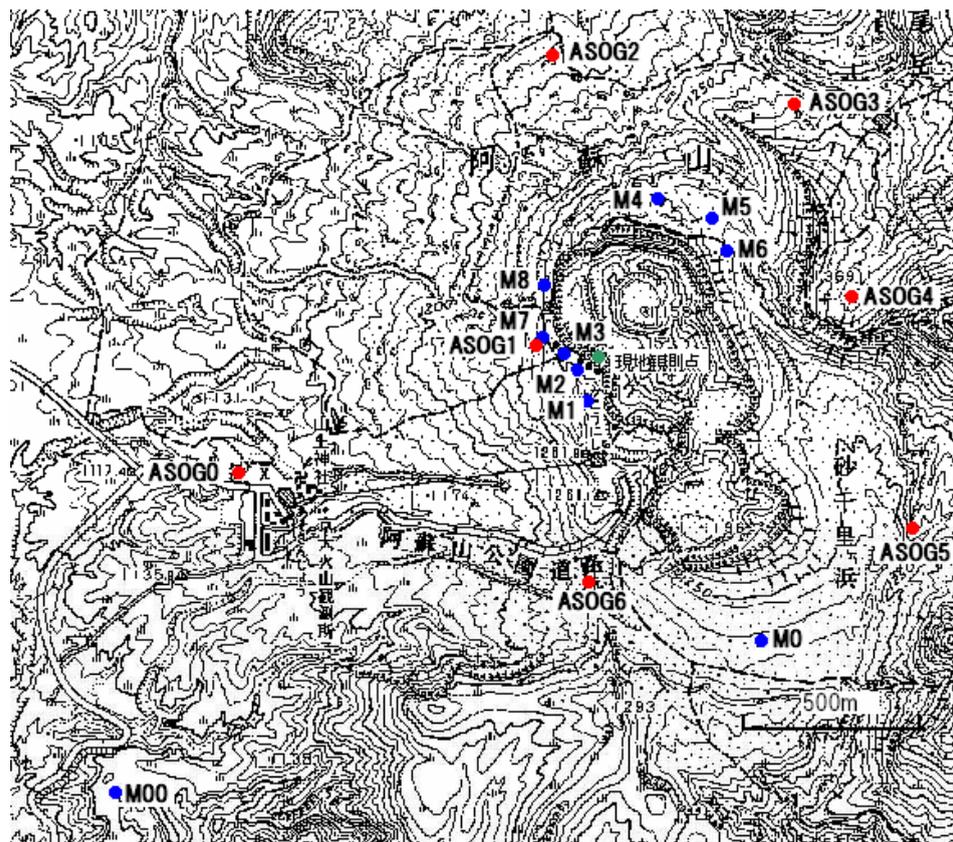


図6 観測点位置図



観測点位置図

● : 全磁力観測点(参照点は M00)  
● : GPS 観測点

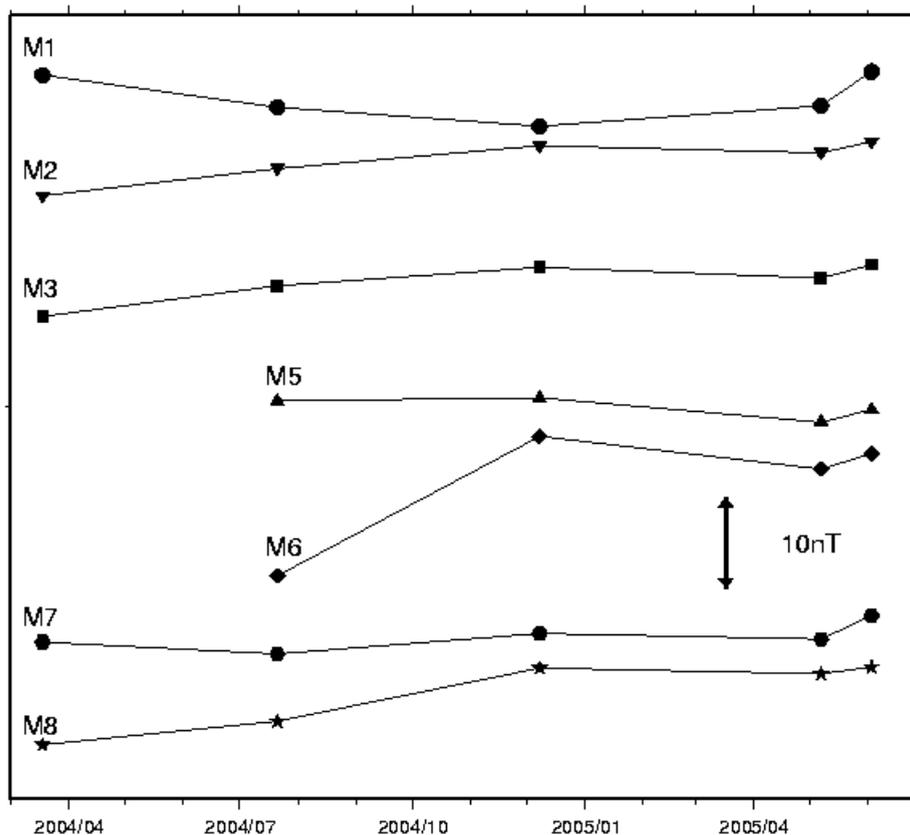


図7 全磁力繰り返し観測結果(参照点:M00)(2004年3月18日~2005年6月3日)  
火山活動に起因する変化は認められませんでした。

阿蘇山